

2023年6月3日
日本芸術

鶴の畳 個展
7/1(土)～7/30(日) 京都・東福寺 光明院にて開催！

～ダンサー森崎真帆と金澤萌美によるダンスパフォーマンスを披露～

畳職人の山田憲司は、東福寺光明院の寺紋に合わせて作った、鶴の畳を公開する。公開期間は2023年7月1日から7月30日迄で、1ヶ月間自由に見学することができます。

また、7月1日15時からダンサー森崎真帆と金澤萌美によるダンスイベントを開催し、鶴コンセプトにした演技を披露する。(見学無料)

イベント URL : <https://komyoin.jp>



ダンサー：金澤萌美



ダンサー：森崎真帆

特徴

全て同じ色の畳(天然イグサ)を使用するが、畳の織り目を変えることで光の反射で色を変化させている。301枚の畳をパズルのように組合せることによって一つの絵を描いている。

光の反射によって色を変化させている為、立つ位置によって色が変わって見みえる。また時間帯によっても色が変わり、夕方になると羽の色が金色に変化する。



■開催概要

- 日時 : 2023年7月1日~7月30日 午前7時~日没ごろ
ダンス : 7月1日15時~ (ダンサー: 森崎真帆、金澤萌美)
会場 : 東福寺光明院
アクセス : 京都市東山区本町15丁目809
URL : <https://komyoin.jp/>
入場料 : 無料 (お寺の志納 300円)

■会社概要

- 屋号 : 山田一畳店
所在地 : 岐阜県羽島市竹鼻町2382-1
代表者 : 山田憲司
設立 : 1869年
事業内容 : 畳店
URL : <https://art-tatami.com/>



SNSで話題となった、山田憲司の代表作「龍の畳」と「無限畳」も光明院にて展示している。



「鶴休飲水図」

このプロジェクトは2021年に私、山田憲司が思いついた案で、壁の無い解放された空間の床にデザインを付加することで、室内空間と室外空間の境界が、曖昧になるのではないかとという仮説から作られたプロジェクトです。

今回、東福寺光明院で展示をさせて頂くにあたり、庭園にある枯山水を湧水に見立てて、そこに水を飲みに来た鶴を畳のデザインにしました。鶴は光明院の寺紋でもあります。外部空間の庭園と内部空間の床に、共通のストーリーを作ることによって普段では分断されている空間を繋ぎ合わせた作品となっています。

アートは本来、壁に絵を掛けたり空間の中に彫刻を置くなどして立体的に鑑賞されてきました。しかし私の作品は「床面」をテーマにすることで、その空間には何も存在しないが、空間そのものが作品になるような空間演出を意識しています。床の素材に畳を用いることで、人が踏んだり乗ったり寝転んだりすることが可能なり、作品の中に入り込めるような体験ができます。是非この機会に新たな鑑賞体験をお楽しみ下さい。

「鶴休飲水図」は背後に見える、庭園家・重森三玲(みれい)の庭園にちなんで301枚の畳で構成されています。畳の表面に使われている素材のイグサは、熊本県八代市の松島氏の農地で育てられたものを、2022年の7月に私自身が刈り取りさせてもらい作品に活用しました。全て同じ色のイグサで作っていますが、イグサの織り目の角度をずらすことで光の反射で色を変化させています。正面から見ると鶴の頭は深緑色に見えますが、反対面からみると鶴の頭は白くなり、逆に背景が深緑色に見えます。一步一步、歩くたびにイグサの色が変化していきますので、光が反射した時のイグサのさまざまな色合いをお楽しみ頂けます。

色が変わるのは場所を変えた時だけではなく、時間帯や季節によっても変化していきます。写真のように冬の夕時には鶴の羽が金色に輝きます。さらに朝日によって嘴が金箔を貼ったかのように数分だけ光り輝く時もあります。7月の展示の時ほどのような色が出るかはわかりませんが、その日その瞬間、その時の気候や天気など、その時にしか味わえない美しさが体験できるはずです。

「アート畳×ダンスパフォーマンス」

7月1日のオープニングではダンサー森崎真帆と金澤萌美によるダンスパフォーマンスをおこないます。(プロデューサー：湯川史樹)

「鶴休飲水図」の展示では【外部空間と内部空間の接続】、そして【時によって変化する美】

をテーマにして作品を作りました。ダンスパフォーマンスでは、さらにその空間に動きを与えて鑑賞者の視線を、三次元的に操作することを目的として演技を練っています。

通常ステージとは違い今回のステージでは、背景が抜けて庭園が見えていたり、床面がメインデザインとなっています。ダンスを楽しんで頂くだけではなく、ダンサーによって作り出された奥行き感や、平面感、空間そのものの変化をお楽しみ下さい。

また、作品のモチーフである二羽の鶴は特定の場所から見ると、白色と黒色(緑色) の鶴に見えます。しかし上記で述べた通り、鑑賞者の位置が変わると二羽の鶴の色が同色に見えたり、色が反転して見えたりもします。物自体は変化していないのに鑑賞者の立ち位置、時間(時代) によって作品の見え方は大きく変化していきます。これは争い合う人間にもお互いの正義があるように、その立ち位置によって見え方が変わってくる論理と非常に似ていると言えます。今回のダンスパフォーマンスでは、そのようなストーリーを組み込んで構成していますので、鑑賞者の皆様の視点に立ってストーリーを楽しんで頂けたら幸いです。

【アート畳をはじめた理由】

奈良時代から続く 1300 年の歴史をもつ畳ですが、近年、畳の生産量は住宅の洋風化と共に激減しています。その原因の一つは、畳のデザインは長い間、正四角形のみであり、現代の洋風住宅の需要に応えられなくなっているところです。そこで、どんなインテリアにも対応できるデザインの畳を作りたいと思い、変形畳の開発を始めました。開発を始めてから 5 年ほどたち、ようやく細かいデザインまで畳で表現できるようになり、個展開催までたどり着きました。今回の個展がきっかけとなり、畳需要の増加、そして海外活動へのきっかけとなってくれれば良いと思っております。

畳は、日本独自で始まった固有の伝統文化であり、まだ他の国では知られていません。イグサという柔らかい素材を床に使っているのは、世界的に見ても非常に珍しいです。この独特で素晴らしい文化である畳を、アートと融合させることで世界中の人に伝えていきたいです。

<以下、参考資料>

■代表者の経歴



- ・1983 年 畳屋の 5 代目として生まれる
- ・2006 年 建築会社に勤務
- ・2018 年 変形畳の研究を開始する
- ・2020 年 恵比寿・弘重ギャラリーにて初個展
- ・2023 年 銀座シックスにて合同展「ブレイク前夜展」参加

■その他 (特許・表彰など)

- ・公益財団法人岐阜県産業経済振興センターがおこなう、2018 年度の事業可能性評価で A 判定を取得
- ・羽島市が実施する優れた技術を有するものに認定する、2019 年はしまマイスター認定される。

【本イベントに関するお客様からのお問い合わせ先】

山田一畳店
Tel : 090-3562-5085